

平成29年度第1回和光市地球温暖化対策委員会議事要録

平成29年8月8日（火）

午後2時～午後3時

和光市役所5階 504会議室

出席者：

芳野委員長、松田副委員長、金塚委員、後藤委員、川島委員、小林委員、茂呂委員

事務局：市民環境部長 中蔦、環境課長 亀井、環境課課長補佐 工藤、環境課主査 工藤、環境課主任 金岡

傍聴者：2名

司会：環境課課長補佐 工藤

1 開会

2 委嘱書授与

市民環境部長 中蔦より各委員へ授与

3 あいさつ

環境課長 亀井

4 自己紹介

各委員、各事務局職員

5 委員長・副委員長の選出

委員長 芳野氏、副委員長 松田氏で決定

6 委員長・副委員長あいさつ

委員長 芳野氏、副委員長 松田氏

7 議題《資料1》

(1) 委員会の目的と今後のスケジュールについて《資料2》

和光市地球温暖化対策委員会の設置目的は、第1条のとおり、市民、事業者、関係団体及び市の協働により和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の進行状況を管理し、及び推進を図ることとなっている。本委員会の所掌事務は、第2条のとおり、二酸化炭素の排出状況の把握に関すること、温暖化対策の具体的な取組の企画立案等に関すること、計画に掲げる取組の達成状況の評価に関すること、計画の進行管理における点検及び評価並びに見直しに関すること、計画の推進に関し市長が認めることの5つであり、その主な内容として、本年3月に改訂した和光市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき、二酸化炭素排出量の削減に向けた取組の実施状況等の把握及び点検・評価をお願いしたいと考えている。

また、今後のスケジュールだが、今年度の委員会は、本日と来年1月頃の2回、来年度は2回の開催を予定している。

芳野委員長：事務局からの説明に対し、何か意見はあるか。

《委員異議なし》

(2) 和光市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)【改訂版】について

第1章「計画の基本的な事項」、第2章「計画策定の背景」、第3章「和光市の自然的・社会的特性」、第4章「温室効果ガスの排出状況」、第5章「温室効果ガス排出抑制等に関する施策」、第6章「計画の推進体制と進行管理」、資料編について、計画冊子に基づき事務局から順に説明。

芳野委員長：事務局からの説明に対し、何か意見等はあるか。

《委員異議なし》

(3) 和光市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)【改訂版】概要版(案)について

《資料3》

資料3 概要版案に基づき、表紙、「地球温暖化ってなに?」、「和光市でも地球温暖化が進んでいるの?」、「地球温暖化が進むとどうなるの?」、「計画の趣旨」、「和光市の地球温暖化対策」、「この計画の期間は?」、「削減の対象とする温室効果ガスは?」、「二酸化炭素削減目標」、「計画の推進」、「温室効果ガス排出抑制等に関する部門別の取組」、「削減に向けた基本施策」、「適応策って、どのように進めるの?」、「この計画は、どのように管理して、進めていくの?」、「わたしたちにできることって何だろう?」、「望ましい将来像」について、事務局から順に説明。

芳野委員長：事務局からの説明に対し、何か意見等はあるか。

「地球温暖化とは何か」という事柄からはじまっていて、ストーリー性もあり、わかりやすく仕上がっていると思う。前計画の概要版と比べるとイラストも多く、子どもにも親しみやすい内容になっている。委員の皆さんはどう感じたか。率直なご意見等お願いしたい。

茂呂委員：和光市は、毎年、省エネチェックブックを市内小学4年生向けに行っているが、そういったところで培った地球温暖化対策についての考えを中学校でもいかすような取組は今行っているのか。

事務局：埼玉県が年に2回、夏と冬に実施しているエコライフDAY(一般、高校生、中学生、小学生を対象とした省エネチェックシートの実施。二酸化炭素削減量がわかる)という取組があり、毎年、市内中学校にも協力を得て、和光市が集計したものを取りまとめ、埼玉県へ報告している。市としても継続的な意識啓発の重要性を感じているため、引き続き、この取組を進めていきたい。

芳野委員長：自治会等でもエコライフDAYを実施している。チェックシートの集計作業が、大変であるという点はあるが、今後も市民から協力を得るなどして、市が取りまとめ、継続して行っていくのがよいと思う。

川島委員：計画を策定した後の取組として、省エネ機器に対する補助金について、どのように考えておられるか。

事務局：これまで、太陽光や省エネ機器に関する補助金を実施してきた結果として、ある程度、市民の方に普及してきたのではないかという考えがある。市としては、補助金という形で地球温暖化対策を進めるのではなく、地球温暖化対策を市民一人ひとりがそれぞれの形で考え行動できるよう、意識啓発を重視した取組として、環境教育講座等を実施するなど、対応していきたい。

松田副委員長：高いお金を出さなくても、安価で太陽光パネルを自分で設置し、家

庭で使用する一部の電力を確保する方法もある。P V - N E T (特定非営利活動法人太陽光発電所ネットワーク)のホームページでも周知しているが、そういった方法でそれぞれが工夫しながら地球温暖化対策を進めていく方法もある。

茂呂委員：概要版についてだが、たとえば、LEDに変えるとどのくらいの変化があるなど、組み込んでみると、もっと市民の意欲が高まるのではないかと思う。

小林委員：子どもたちにもわかる、良い概要版が出来てきているため、絵画コンクールに参加した子どもたちを含め、多くの市民に概要版が行き渡るよう取り組んでほしい。

芳野委員長：今回、各委員から出た意見を事務局で精査し、概要版に反映してもらえればと考える。また、そのほか、ご意見がある場合は、随時事務局へ連絡してほしい。そのような形でよろしいか。

《委員異議なし》

(4) その他

事務局：ただいまの計画の概要版についてのご意見を踏まえ、事務局にて修正及び調整を図った後、8月24日(木)に開催する環境審議会の審議を経て、最終的にまとまったものを公表する予定でいる。また、次回委員会は、来年1月頃の開催を予定。決定後に、各委員へ開催通知を送付する予定である。

芳野委員長：事務局からの説明等に関し、ご意見等あるか。

《委員異議なし》

8 閉会